

### 3 川や池の生物

県内に河川は400ほどありますが、いずれも長さは短く、少雨のために水量は少なく、川幅も狭いのが特徴です。また、古くから水資源確保のために平野部ではたくさんのため池が作られてきました。そんな川やため池でよく見られる生物に着目することで、香川の自然環境が見えてきます。

生物たちは、きまった環境で生活しています。川や池をとりまく環境には魚類や両生類だけでなく、えさを求めて集まる水辺の鳥、ミジンコなどのプランクトンなどがバランスを保って生活をしています。また、冷たい水を好むものや、流れのゆるい川を好むものなど、生物によって生息するのに適した環境もさまざまです。

#### おもに山間部の川の生物



スジエビ



サワガニ



イモリ



シュレーゲルアオガエル



カジカガエル



タカハヤ



ドジョウ、シマドジョウ



ドンコ

#### おもに平野部のため池や川の生物



アメリカザリガニ



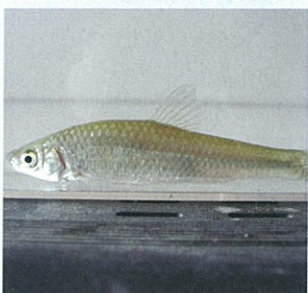
モズクガニ



クサガメ



ウシガエル



モツゴ



カワムツ

ここで  
紹介した生物は  
ほんの一部だよ。  
たくさん  
見つけよう。



メダカ

#### 調べてみよう

みなさんが暮らしている地域では、どの生物を見つけることができますか。この他にも見つけたら、生物図鑑などを使って名前を調べてみましょう。

また、どれか1つの生物に焦点をあてて、その生物に関わる他の生物との関係を調べていくと、その場所の環境がよくなっているか、悪くなっているかが見えてきます。